

潑刺と

新野の  
祐子

好きなのは金柑・名誉なきデイラン

ラガー追うそのまなざしの一直線

今年米湯気立つ中に潑刺と

暮早しもう君の尾が生えて来し

さようなら霏<sup>みぞれ</sup>消えゆく窓越しに

登頂は親子三代初日浴ぶ

初夢や老父母寝せて猫寝せて

平等に解けてゆくなり雪達磨

ポケットに出生届霰<sup>あられ</sup>ふる

一枚の絨毯一枚の果し状